

交通事故発生状況（令和7年7月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区 分	令 和 7 年	令 和 6 年	増 減 数	増 減 率
全 国	1,346	1,409	- 63	- 4.5%
管 区 計	157	169	- 12	- 7.1%
富 山	16	10	+ 6	+ 60.0%
石 川	15	14	+ 1	+ 7.1%
福 井	13	12	+ 1	+ 8.3%
岐 阜	29	31	- 2	- 6.5%
愛 知	58	76	- 18	- 23.7%
三 重	26	26	±0	±0%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人 身 件 数	死 者 数	負 傷 者 数	
			重 傷 者 数	
令 和 7 年	1,642	29	2,020	227
令 和 6 年	1,608	31	1,965	195
増 減 数	+ 34	- 2	+ 55	+ 32
増 減 率	+ 2.1%	- 6.5%	+ 2.8%	+ 16.4%

(3) 月別死者数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令 和 7 年	4	1	7	3	3	6	5	—	—	—	—	—
令 和 6 年	6	6	3	1	4	8	3	6	6	5	10	12
増 減 数	- 2	- 5	+ 4	+ 2	- 1	- 2	+ 2	—	—	—	—	—

(4) ブロック別死者数

区 分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
令 和 7 年	10	6	4	7	2	0
令 和 6 年	8	7	4	6	4	2
増 減 数	+ 2	- 1	0	+ 1	- 2	- 2

(5) 年齢層別死者数

区 分	こども	高校生	若年者	25～59歳	60～64歳	高齢者
令 和 7 年	0	1	1	3	0	24
令 和 6 年	0	0	0	9	4	18
増 減 数	0	+ 1	+ 1	- 6	- 4	+ 6

2 死亡事故(29件、29人)の特徴

今年の死亡事故は29件29人発生し、死者数は前年同期より2人減少している。
岐阜県の全国順位(ワースト)は、死者数17位、増減数23位、増減率24位。
また、人口10万人当たりの死者数は1.51人、ワースト18位。(全国平均:1.09人)
※ 人口10万人当たりの死者数は、R6.10.1現在の推計人口により算出

(1) 高齢者の死者が8割強

高齢者の死者が24人で、前年同期より6人増加し、全死者(29人)の82.8%を占め、このうち歩行者が10人と全高齢者の41.7%を占める。
また、80歳以上の高齢者が14人で、全高齢者の58.3%を占める。

(2) 歩行者・自転車の死者があわせて約6割

歩行者の死者(11人)と自転車の死者(5人)をあわせて16人で、前年同期より4人増加(歩行者+3人・自転車+1人)し、全死者の55.2%を占め、このうち高齢者の死者が14人(歩行者10人・自転車4人)と大半を占める。

(3) 高齢運転者による事故が4割強

高齢運転者による事故が11件で、前年同期より6件増加し、全運転者事故(25件)の44.0%を占め、このうち昼間の事故が9件、単独事故が6件である。
また、65～74歳の運転者による事故が7件で、全高齢運転者事故の63.6%を占める。

(4) 飲酒関係事故が増加

飲酒運転での事故が2件で、前年同期より2件増加し、全事故(29件)の6.9%を占める。

《 その他 》

- 若年運転者事故が2件で、全運転者事故(25件)の8.0% [前年同期:2件・7.4%]
- シートベルト非着用者は4人で、自動車乗車中死者(9人)の44.4% [前年同期:8人・57.1%]

注:若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。夜間は日没から日の出までをいう。
運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。
飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は2人で、前年同期より1人減少している。 ※ 7月末で死亡を確認したもの。

【過去10年間の死者数推移】

年 別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
7 月 末	58	53	45	51	46	25	36	38	25	31	29
年 間	106	90	75	91	84	43	61	75	50	70	...